

藤沢

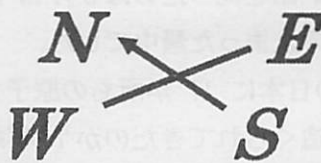
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2012年7月1日

第218号



- 主 事
- ・「福島の子どもたちとともに・湘南の会」
 - ・学習会「脱原発に向けた自然エネルギー戦略」
 - ・給食食材の放射能検査 市議会に陳情
 - ・放射能測定 ・花のさんぽみち

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

6月17日「福島の子どもたちとともに・湘南の会」発足

バスから降りた子どもがまず発した言葉は「公園はどこ？」だった。

子どもの目はきらきらと輝き、外で遊べる期待に満ちている。予定外ではあったが、夕方、急遽、となりの砦公園で子どもたちはボランティアと遊びはじめた。お母さんたちは、歓迎会の会場で初めて顔を合わせた私たちに「放射能の話は地元ではタブー視されている」と息せききったように話しはじめた。

あんなふうにお母さんたちが自由に話ができるなら、子どもたちがあれほど嬉々として遊ぶなら、そして本気で「帰りたくない」というほど、福島の実情が厳しいのなら、保養受け入れは十分に意義のあることである。

私を持っている線量計では藤沢は世田谷よりずっと低い。
それに海や自然にも恵まれている。

藤沢で受け入れをと思っていた矢先、藤沢エコネットが声を上げ取り組むことになった。
第1回の相談会の時、多くの方々が参加してくださって、「湘南の会」は広がり始めた。

大震災の前から飯舘村と関わり続け、震災後はいち早く支援を続けていらっしゃる糸長浩司先生（日本大学教授）に顧問になっていただき、代表には藤沢エコネットの青柳さんに就いていただいた。

会議のたびに、出会ったばかりの皆様の奮闘ぶりに驚く。市民活動のエキスパートのような方も多く、あれよあれよとという間に後援や協賛をいただき協力団体は増えている。

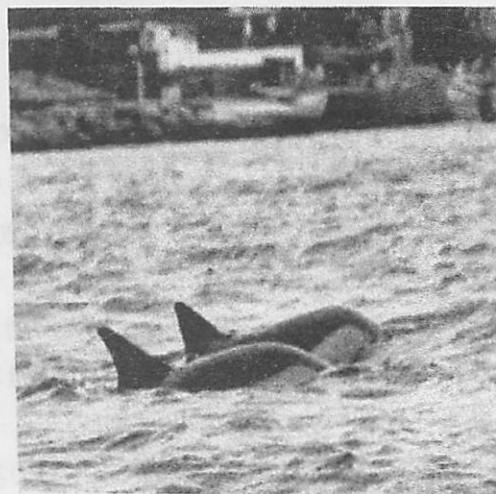
原発災害がなければ出会わなかった方々の行動力に頭が下がる。放射能はなかなか消えないのだから、保養受け入れの需要は長く続く。

たくさんの人の協力が必要で、それに支えられてはじめて成り立つ活動がはじまった。

皆さまのご協力をお願いしたい。

(須藤百合子)

葉山沖のイルカ



脱原発にむけた自然エネルギー戦略

本島勲先生のお話を伺ったのは5月27日、国内の54基すべての原発の止まった最中でした。

なぜ、被爆国の日本に17か所の原子力発電所、54基もの原子炉が造られてきたのか？ 事故が起こってから湧きあがる疑問に、本島先生は、歴史的な背景から説明して下さいました。

I 我が国の電力産業

1. 電力産業の誕生(背景と特徴)

- ・明治政府による「富国強兵」「殖産興業」政策の下、純粋に民間産業(電燈産業)として誕生。
- ・中国、東南アジアへの侵略戦争体制の下、天皇の勅令によって戦争に協力、日本発電送設立(1939)。

2. 戦後の電気事業・電気事業再編成令(ポツダム政令1950)によって供給区域を定めた9つの電力会社に再編(1951)・電力会社は、公益事業令によって供給、地域の独占と電気料金の統括原価方式、利益を保護されてアメリカのエネルギー世界戦略に従属し、我が国固有のエネルギー資源(水力、石炭)から石油、原子力に転換。

- ・戦後の電気事業法は1964年に制定。電力会社は、原発の導入を含む現在の基礎を築き、その原点はアメリカの占領政策にあった。

II なぜ原発重点・依存なのか

今日の自動車などの大工業社会は高密度で大量の電力の消費により成り立ち、大規模な工場が約30%電力を消費し、大量の電力(原発)を必要としている。

III なぜ原発が導入されたのか

1. アメリカにおける核・商業炉の開発

- ・戦時中、マンハッタン計画による広島・長崎への原爆投下。戦後アメリカ原子力委員会設立(1947.1)
- ・ソ連の原爆の開発(1949)により東西対立が激化、原子力委員会は核兵器開発の役割を担う。
- ・商業用発電炉の高速増殖炉開発から、海軍潜水艦用動力炉として軽水炉開発(1953)アメリカの世界核戦略におけるリーダーシップの確保・維持。

2. アイゼンハワー大統領の国連演説(平和の為に核)1953.12.8

- ・原子力潜水艦ノート「核の平和利用」1955-1965時代に旺盛な核開発が始まった。

〈藤沢エコネットニュース218号〉

3. 日本における核・原発の開発と導入

- ・原子力の平和利用による心理作戦のもと、アイゼンハワーの演説を受けて日本の原発が始まった。
- ・戦後広島・長崎での原爆(1945)、ビキニ水爆実験(1954)による被災を体験し、原水爆禁止運動と反米感情が高揚。
- ・1954安全保障会議に於いて中曽根康弘氏や正力松太郎氏(読売新聞)による核の平和利用の路線がひかれ、啓蒙キャンペーン。

【55年政治体制】社会党右派左派の統一、自由党、日本民主党、改進黨による保守合同・政策大綱で核の平和利用を決定し、原発の導入が推進された。

IV 再生可能エネルギーへの転換について

1. 自然(再生可能)エネルギー(以下自然エネと呼ぶ)の発電可能容量(総発電設備量の10倍以上)。
2. 自然エネの2009年の発電実績は3.4%。原発の2010年発電量は、35.3%。
3. 再生可能エネ固定価格買い取り法による利用推進。
4. 電力会社、大企業による再生可能エネの大規模開発
5. 我が国固有の自然エネの開発(地産地消)。
6. 自然エネの出力変動に対応したスマートグリッドの開発・導入

★私は、昨年の福島原子炉爆発から1ヶ月もたたぬ時、朝日新聞に大きく載った中曽根康弘氏のインタビュー記事がずっと気になっていました。「1994-5年周りが良く核の平和利用について理解しない間に、上手く国会で莫大な予算を勝ち取った」と、満面の笑みの中曽根さん。私の生きてきた57年間で、そのまま日本の核の平和利用(?)歴史であるのに、深く知ることなく生きてきたので、今回藤沢エコネットで学びの場をいただいた事に感謝しております。エネルギー戦略 今どうするか？ 太陽光発電は今すぐできるとの先生の言葉に励まされました。

我が家では、太陽光パネル15枚を付けもうすぐ2年になろうとしています。1年目は3802kw発電し、暖房器具が石油ストーブとオイルヒーターの併用で、自給率53%でした。2年目は、孫たちの安全策からオイルヒーターだけの暖房だったので、だいぶ電力のお世話になり、自給はさがりました。2年間の総発電量は7195kwh。消費量は14854kwh、売電量は4605kwh、買電量は12264kwh、自給率は48%です。

(野田美雪)

給食食材の放射能検査 市議会に陳情

今も続く放射能汚染、学校等の給食食材に含まれる放射能対策をして欲しいという陳情が藤沢市議会6月議会に出され、3名の賛成(自民・共産・かわせみ)で、4名(公明2・松風会・さつき)が反対で不了承になりました。

陳情項目

次の項目について市に働きかけて下さい。

1. 藤沢市内で提供される給食について、内部被ばくを可能な限り避けるべく、食材の使用基準値40Bq/kgを中止し、少しでも放射性物質が検出されているものは使用しないこと。
2. 他の自治体による給食放射能検査にて放射性物質が検出されている食材は、産地偽装やロット内でも汚染の度合いにばらつきがあることを考慮して予め使用せず、栄養学的に不足するものは他の代替え食材を使用した献立に変更すること。

以下陳情理由は省略します。

一部修正との動議がなされ経過がありましたが結局、不了承となりました。

放射線の基準値を超えて検出されたことがある冷凍ミカン、レンコン、サツマイモ、乾燥シイタケなどが今も食材に使われています。

横浜市は検出された食材は中止、鎌倉市でも今年限りで中止します。

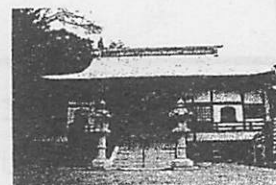
議会傍聴者は若い母親たち40名ほどで満席に、子どももいて議会を見届け、子どもの命を守りたい、健康を心配している人が大勢いることでパワーを感じました。

母親の子どもを守る歴史を考えると、むかし、小児麻痺ワクチンで被害が出たとき、生ワクチンを要求した運動を思い出し、今また、子どもを放射能から守る熱意が広がっていると深く感じました。

藤間副市長からの答弁は、少しでも出たらその食材は使わないようにするとありました。ある女性議員は質疑の時は、「陳情ごもっとも!」「心配するのは当たり前」など陳情をほめていましたが裁決では反対の態度でした。(かとうたかこ)

花のさんぽみち

みどりが茂り春の花は少なくなってきましたが社や寺をめぐるのも楽しいかと…今回は六会日大前からのコースを紹介します「小栗判官伝説」のある花應院へも足をのばしてみたいかがでしょう
(藤沢市発行 藤沢花マップより)



かおういん
花應院

1月・8月に行われる閻魔まつりでは、小栗判官縁起絵と閻魔十王図の絵解きが行われます。

☎ 西俣野866
☎ 0466-81-3566

チョコッと立寄りスポット



元祖へっころ谷

無農薬の自家栽培小麦使用の手打ちほうとうは、手作りの温かさを感じさせてくれるやさしいお味。

☎ 亀井野3-30-1 ☎ 0466-82-1702
☎ 11:30~21:30(L.O.) (平日15:00~17:00休館) 困火曜 ☎ 有



放射能測定値

市民が5月22日に測定した数値

- ・城南4丁目 畑 0.049 マイクロシーベルト
- ・城南4丁目 庭 0.048 マイクロシーベルト
- ・明治市民の家庭 0.065 マイクロシーベルト
- ・明治市民の家裏 駐車場 0.073 マイクロシーベルト

6月30日

- ・藤沢公民館斉美館内 0.043 マイクロシーベルト



武田湘南研究所の大量動物実験と

環境汚染反対、情報公開求める署名要望
約5000筆を国へ提出！

藤沢市議会に安全協議会を求める署名請願

2776筆を提出！

5月8日、「動物実験と環境汚染に対する行政指導と情報公開についての要望」を、細野剛志環境大臣、小宮山洋子厚生労働大臣宛てに署名4827筆と提出しました。

参加者から「日本の動物愛護法は規制・処罰がなく数の届出すらなくザル法で、動物愛護の後進国！」との発言もありました。

6月藤沢市議会に「武田薬品工業との間に、関係市民・専門家も参加した安全協議会の設置を求める請願」を2776筆の署名とともに提出しました。12日の環境厚生委員会、その後、本会議で審議され不採択となりました。

市は化学を専門とする市職員がバイオの専門分野を監督できると豪語しました。

(青柳)

ECONET INFORMATION

川名自然フォーラム観察会 お子様大歓迎

とき 7月15日(土) 9:30-12:00 (雨天中止)

集合 新林公園 ケヤキ大木下ベンチ

講師 小口岳史 氏

主催 川名フォーラム 090-4246-0951

「世界は恐怖する」映画とおはなし

とき 7月15日(土) 10:30-12:30

場所 県民サポートセンター1501室

参加費 500円

主催 横浜・ゴミを考える連絡会

連絡先 045-892-6898 西岡



環境フェア2012 参加団体募集

今年も12月15日市民会館にて開催されます
参加団体を募集します

1ブースは180×90のパネル一枚

7月13日(金)までに 藤沢市環境都市政策課まで

藤沢エコネットから

ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南



福島の子どもたちを湘南に招き、自由に遊んで
楽しんでもらいます。賛同できる方はご協力を！

日時 7月22日(日)～25日(水)

あなたの力をかして下さい！！

会費・購読料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 737 エコネット

(従来の振込方法も利用できます)

会員募集＝年会費・購読料→3000円

事務局会議 7月19日(木) 16:00～推進センターにて

《編集後記》7月1日湘南海岸公園に「津波避難タワー」(標高12.5m)が完成した。7月7日は観光客も含め約14万人対象の津波避難訓練が実施される。100人収容のみだが、今後増やすというからはじめの一步か。福島第1原発4号炉の冷却装置が6月30日早朝止まり1日午後3時過ぎまで1535本の使用済み核燃料が冷却できないでいた！まだ事故終結さえできていないのに大飯原発再稼働！被災者の立場に立ってほしい。(A)